

(株) ミナトドリリング環境行動計画

平成27年8月20日

取 組 方 針

株式会社ミナトドリリングは、『何をすればいいのか』自ら行動することをモットーに、顧客ニーズにあった鑿井工事や温泉揮発しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減）
- ② 工事部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成27年8月20日

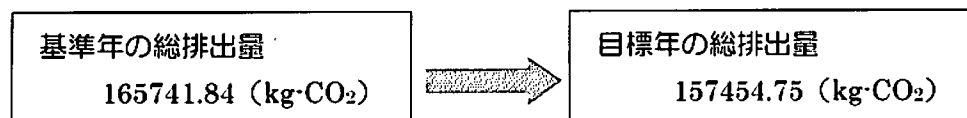
株式会社 ミナトドリリング

代表取締役社長 湊 康久

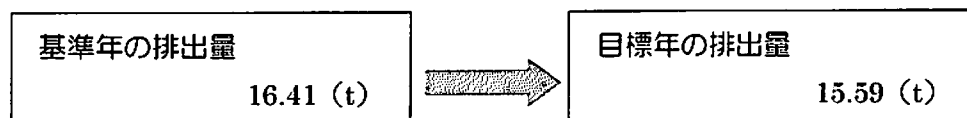
3 環境負荷の低減目標

2017 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 2016 年です。）

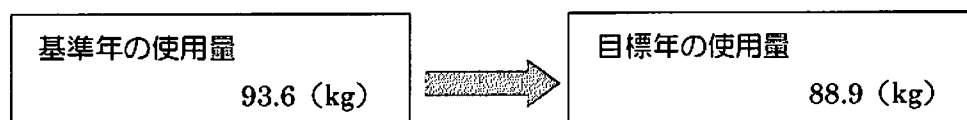
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 5%削減する



【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 5%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 5%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

（事業部門での活動）

- ・ 昼休みと休憩時間には、発電機等、使用していない機械の電源を切る
- ・ ボーリングマシンを定期的に点検する
- ・ ボーリングマシンのアイドリングを減らす
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

（事務・営業部門での取組）

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 機械、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。